

平成19年第4回板倉町議会定例会

議事日程(第3号)

平成19年12月13日(木)午前9時開議

- 日程第 1 陳情第2号 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める陳情書について
日程第 2 閉会中の継続調査・審査について

○出席議員(14名)

1番	川野辺 達也 君	2番	延山 宗一 君
3番	小森谷 幸雄 君	4番	石山 徳司 君
5番	宇治川 利夫 君	6番	市川 初江 さん
7番	青木 秀夫 君	8番	野中 嘉之 君
9番	石山 甚一郎 君	10番	秋山 豊子 さん
11番	塩田 俊一 君	12番	青木 佳一 君
13番	川田 安司 君	14番	荻野 美友 君

○欠席議員(なし)

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	針ヶ谷 照夫 君
教 育 長	今村 好市 君
総合政策課長	小野田 吉一 君
生活窓口課長	荒井 英世 君
健康福祉課長	小野田 国雄 君
建設農政課長	中里 重義 君
会計管理者	小菅 正美 君
教育委員会 事務局 会長	田口 茂 君
農業委員会 事務局 会長	中里 重義 君

○職務のため出席した者の職氏名

事務局 長	栗原 光実
書 記	石川 英之
行政安全 グループ リーダー兼 議会事務局書記	丸山 英幸

開 議 （午前 9時00分）

○開議の宣告

○議長（荻野美友君） おはようございます。

本日は今定例会の最終日です。直ちに本日の会議を開きます。

○常任委員会委員長報告

○議長（荻野美友君） それでは、委員会の審査報告がお手元に配付されておりますので、会議規則第40条の規定により、審査の経過及び結果の報告を求めます。

建設農政生活常任委員長、野中嘉之君。

[建設農政生活常任委員長（野中嘉之君）登壇]

○建設農政生活常任委員長（野中嘉之君） 皆さん、おはようございます。それでは、建設農政生活常任委員会に付託されました案件について報告をいたします。

本委員会に付託されました陳情第2号は、審査の結果、次のとおり決定しましたので、板倉町議会会議規則第75条の規定により報告いたします。

陳情第2号 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める陳情書について。

審査の結果は、継続審査であります。理由は、さらに検討を要するであります。

審議の内容について若干申し上げます。各委員からは、創設できることであれば、あるいはまたその年金不信によるところの若い人などを中心に保険料未納者の増加を考えると賛成などの意見がある一方、趣旨は理解できるが、財源確保ができるのかとか、現在の制度を充実させることでよいのではないのかとか、また無拠出はよくない、また年金制度の不公平を是正すべきだなどさまざまな意見が出ました。問題点も多いことから、さらに検討を要するとの意見が多数となり、継続審査といたしました。

以上で報告を終わります。

○議長（荻野美友君） 委員長の審査結果の報告が終了いたしました。

○陳情第2号 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める陳情書について

○議長（荻野美友君） これより日程に従いまして審議に入ります。

日程第1、陳情第2号 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める陳情書についての質疑を行います。質疑ありませんか。

[「なし」と言う人あり]

○議長（荻野美友君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

本陳情については、会議規則第73条の規定により、委員長より継続審査の申し出があります。

お諮りします。委員長からの申し出のとおり継続審査にすることに賛成の方は挙手願います。

[挙手全員]

○議長（荻野美友君） 挙手全員です。

よって、陳情第2号は継続審査とすることに決定しました。

○閉会中の継続調査・審査について

○議長（荻野美友君） 日程第2、閉会中の継続調査・審査についてを議題とします。

この件については、各委員長から会議規則第73条の規定により、お手元に配付いたしました文書のとおり閉会中の継続調査・審査に付することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長（荻野美友君） 異議なしと認め、各委員長の申し出のとおり決定いたしました。

○町長あいさつ

○議長（荻野美友君） 以上で本日の議事日程の案件は終了いたしました。

ここで、町長より発言を求められておりますので、これを許します。

町長、針ヶ谷照夫君。

〔町長（針ヶ谷照夫君）登壇〕

○町長（針ヶ谷照夫君） 平成19年第4回板倉町議会定例会の閉会に当たりまして、一言ごあいさつを申し述べさせていただきます。

本議会には、議案第64号ないし71号の8件をお願いいたしましたが、いずれも原案どおりご決定いただきまして、ありがとうございました。なお、今議会では、特に財政問題についてさまざまなご意見を拝聴いたしました。確かに重要なことでございます。

そんな中で当然行財政改革も必要でございますし、またその他の努力も行っておりますが、やはりこれからは、入るをはかるといことも非常に大事になってまいります。議会の中でも再三申し上げさせていただきましたが、そういったことを考えますと、特に来年は工業団地等の企業導入を図ることが最も必要であるというふうに考えております。また、そのためには、それにアクセスをいたします公園通り線とか、あるいは国道354号の延伸であるとかこういったものにも全力を尽くさなければいけないというふうに考えております。

来年は、非常に大事な年になりますので、そんな観点から私ども一生懸命頑張っておりますが、ぜひ議員各位のお力添え、ご協力もお願いしたいと思います。

なお、これから寒さが厳しくなってまいります。議員各位には、ご健勝にてこれからもご活躍を賜りますよう、またよい年を迎えられますようご祈念申し上げます。閉会に当たってのごあいさつとさせていただきます。どうもありがとうございました。

○閉会の宣告

○議長（荻野美友君） 以上で今定例会に付議された案件はすべて終了いたしました。

これをもちまして平成19年第4回板倉町議会定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでございました。

閉 会 （午前 9時08分）

